



スマイル・ボックス

●那覇西 RC 宮内 一郎さん/昨日本坊さんとゴルフのつもりでしたが雨！重いキャディーバッグ、持って帰ります。本坊さんと夕べは、高齢者の会を楽しみました。タブさんやら先輩の皆さんがつつやつやしてうれしい～

●林 幸一郎さん/本日、ゲストでお越しいただきました。鹿児島乳児院畑中院さま、ありがとうございます。本日は、よろしくおねがいたします。

●田中 和俊さん/連続出席表彰をいただきました。仕事が続く限りロータリーもがんばっていきたくと思います。

●逆瀬川 勇さん/連続出席表彰ありがとうございます。
4月20日のスマイル 小計 13,000円 2025~2026年度 累計639,962円

R ソング:「我等の生業」
職業宣言唱和:5・6
ゲスト紹介:
卓話ゲスト=鹿児島乳児院 院長 畑中 和子様
ビジター紹介:那覇西 RC 宮内 一郎様
食事:「本日の演奏:なし」
会長の時間:吉田 健朗 副会長
会務報告:林 幸一郎 幹事
1) 本日の配布 なし
2) RCC 例会 4/26 (日) 11:00 ~
天文館松山通り リンクビル9階
指名出席者 => 吉田 各会員
3) 本日例会終了後 50周年式典実行運営委員会開催
4) 次週 4/27 (月) 例会プログラム

第2213回例会記録 4月20日(月)

会員卓話 國料 忠会員
出席報告:出席委員会
連続出席表彰=>田中 和俊さん (17年)、
逆瀬川 勇さん (2年)
スマイルボックス:親睦委員会
社会奉仕フォーラム
ゲスト卓話「乳児院の現状と課題」
鹿児島乳児院 院長 畑中 和子様

次回例会 令和8年5月11日(月)			
青少年奉仕フォーラム			
出席率	会員数	出席数	出席報告
第2213回例会	46名	30名	65.21%
前々回(4月6日)の補正	46名	32名	69.57%

本日のプログラム 会員卓話=國料 忠 会員 4月 環境月間 前回例会出席率 65.21%

会長の時間 副会長 吉田 健朗
3クラブ合同ゴルフコンペ

本日宮脇会長がご欠席のため代理で会長の時間を担当させていただきました。

前回宮脇会長急遽体調不良で代打を仰せつかったときは急なことでご準備もできなかったのだろうと自分の原稿でしゃべらせていただきましたが今回は業務上のご都合で早い段階から宮脇会長ご欠席予定であったので代読すべき原稿いただけるものかと思っておりましたが残念ながらご用意いただけませんでした。

先日の会長エレクトセミナー PELS でも例会に来られた方が感動してよかったと思える例会をなさいと野球やゴルフの話ではなくためになる会長の時間をとハードル上げられてしまいました。本日は観桜会で使わせていただきました竹添会員の新しく作られたホテル グランセレッソ鹿児島にて美味しいランチと素晴らしい景色で十分感動いただけたものと思いますので「来てよかった例会」になったこととされますのであえてゴルフの話題で会長の時間をしゃべらせていただきます。

先週土曜日 18日に鹿児島 RC、鹿児島西 RC と我が鹿児島中央 RC の3クラブ合同のゴルフコンペが初めて開催されました。ここ数年来この3クラブは同じ山形屋を例会場に行っているご縁もあり合同での夜例会を年に1回開催してき

ておりますが、詳しい経緯は聞いておりませんがおそらくはその流れから合同のゴルフコンペ開催となったようです。

鹿児島 RC も鹿児島西も会員数 70 名を超え、歴史もある名門ビッグクラブでありそういったクラブとの交流は新鮮で刺激あるものだと感じます。

当日は前線接近もあり多少風もありさらには午後から小雨も降り出したりあいにくの天候でしたがゴルフも楽しくラウンドし、夜は鹿児島 RC 会員でもある鳥井ヶ原会員の吾愛人にて表彰式を兼ねた懇親会もあり大いに盛り上がり深く交流ができました。

今回は鹿児島 RC が幹事クラブであったように諸々段取りされていましたがゴルフ場や懇親会場の予約からゴルフ組み合わせ、各種賞品の手配、懇親会の進行と何かと大変だったようです。次年度開催するかどうかは未定ながら各クラブのイベントや公式行事の合間を縫っての日程調整すら大変だろうと感じました。

今回は3クラブ36名参加でゴルフコンペ開催されたものの鹿児島西 RC から18名、鹿児島 RC から13名、鹿児島中央 RC からはわずか5名の参加で中央 RC としては、すこし寂しかったでした。

高岡さんはじめ鹿児島中央 RC の A チームが参加できずほかのクラブに実力を見せつけることもできずに残念でもありました。もし次年度開催の際には是非多くの方にご参加いただければありがたいなあと感じました。

乳児院の現状と課題

鹿児島乳児院 院長 畑中 和子

乳児院は、さまざまな事情で家族との生活が困難な0歳から2歳ごろまでの赤ちゃんを24時間体制で預かり、養育する施設です。

現在、全国に149施設あり、約2,500人の子供たちが暮らしています。虐待相談件数の増加や、共働き、孤立した育児などの社会環境の変化により、その役割は「ただ預かる」ことから「高度な専門ケアと地域支援」へと大きく変化しています。

1. 乳児院の現状

- ・入所の背景と変化：かつては「親がいない・育てられない」という経済的・物理的な理由が主でしたが、現在は虐待（ネグレクトを含む）や、保護者の精神疾患、DV被害などが約半数を占めています。
- ・多機能化：単なる入所施設ではなく、地域の子育て世帯への「育児相談」や、一時的に子どもを預かる「ショートステイ」など、地域の子育て支援センターとしての役割も強まっています。
- ・退所後の進路：親の病気や経済的理由が解消されたり、虐待などの課題に対して親へ指導
- ・支援が一定の成果を収めたりした場合に行われます。しかし現状は、かつては6割を超えていましたが、虐待背景の深刻化などにより、近年は5割台に低下する傾向にあります。

鹿児島乳児院では障害児施設・児童養護施設が大半で、里親委託、実親の元へ戻る子どもは少ないです。理由として親の精神疾患、虐待による障害児、発達障害の緩やかな児、行方不明など様々な事情です。

2. 乳児院の課題

- ・高度な専門性の確保が必須で虐待などによる心身への影響に対応するため、看護師、保育士、心理士などの連携や専門的知識、技術の習得が必要です。
- ・人材の確保と定着：労働人口減少の中で、専門職の確保と、夜勤・緊急時対応に伴う職員のワークライフバランスの両立が難しい。
- ・保護者への支援：虐待の再発防止や、家庭復帰に向けた親への心理療法・育児支援が求められている。

一時保護の負担：虐待の緊急保護が増加し、短期間での状況判断や、高い安全確保が求められる。

乳児院は単に子どもを預かる場所から、地域における子育て支援機能（ショートステイなど）や、里親支援など多様な機能を持つ施設への転換が求められています。

2024年度（令和6年度）虐待

- ・全国の児童相談所が対応した児童虐待件数
22万3691件
心理的虐待：約6割（暴言やDVを目撃する等）
身体的虐待：約2割
ネグレクト：約1～2割
- ・鹿児島県の児童相談所が対応した児童虐待件数
4809件
心理的虐待：72%（1790件）
身体的虐待：19%（480件）
ネグレクト：9%（219件）
性的虐待：（7件）
- ・被虐待児年齢別
0～3歳未満：18%（443件）
3歳～就学前：16%（408件）
小学生：36%（897件）
中学生：17%（435件）
高校生：13%（313件）
- ・主たる虐待者
実父：47%（1176件）

- 実母：41%（1028件）
- 実父以外の父：8%（191件）
- 実母以外の母：（10件）
- その他：（91件）

乳児院の今後の方向性は、従来の「預かる」施設から、里親支援や家庭再統合、妊産婦支援などを行う「地域総合支援センター」への転換です。被虐待児や医療的ケア児への高度な専門的ケアを強化しつつ、小規模化、地域分散化を進め、家庭養育（里親委託等）への移行を促進する役割が重視されています。

3. 今後の主な方向性と課題

- ・入所機能に加え、地域で子育てに困難を抱える親子への相談、支援（ショートステイ等）を強化。
- ・里親への専門的支援や、実家庭への復帰（家庭再統合）を支援する拠点化。
- ・高機能化・専門性の向上。
- ・被虐待児童の増加に対応した心理相談体制の強化。
- ・医療的ケアが必要な子どもの増加に伴う、看護師・PT・OT等との連携。
- ・小規模化と家庭的環境の整備。
- ・大舎制から、小規模グループケアや、地域分散化への移行。

4. 人材の確保と育成

- ・専門職員（心理職、保育士、看護師）の確保と、高度なケアに対応できる人材の定着、育成。

国の方針でもあり、鹿児島乳児院も約1年小規模グループケアに向けて増改築工事を行いこの4月から、1つのユニットに子ども4人職員2人、5つのユニットでスタートしました。

従来の大人数施設での集団生活と異なり、子どもの権利を守り、個性を尊重する現在の社会的養護の核となる仕組みです。

家庭的な雰囲気の中できめ細やかな養育を行う。少人数で生活し、職員が専任で関わることで、

心理的な安定ときずなを育む。

個別対応、児童一人ひとりの意思を尊重し、個別の生活リズムに合わせたケアができる。

安全な空間、プライバシーが守られた個室や、キッチン、リビングなどのある住居環境。

鹿児島中央ロータリークラブ様には毎年クリスマスには子どもたちに沢山のプレゼントをいただきありがとうございます。子ども一人ひとりに自分のおもちゃ箱があり、箱を取り出しては遊ぶ姿がよく見られます。時には他の子どものおもちゃでも遊びたくて、その時は持ち主に許可を得て遊びます。

今回また、寄附を頂けるとのことで、庭はできたのですが、砂場しかなく、子どもたちが絶対喜ぶ大型遊具を選ばして貰いました。ありがとうございます。

